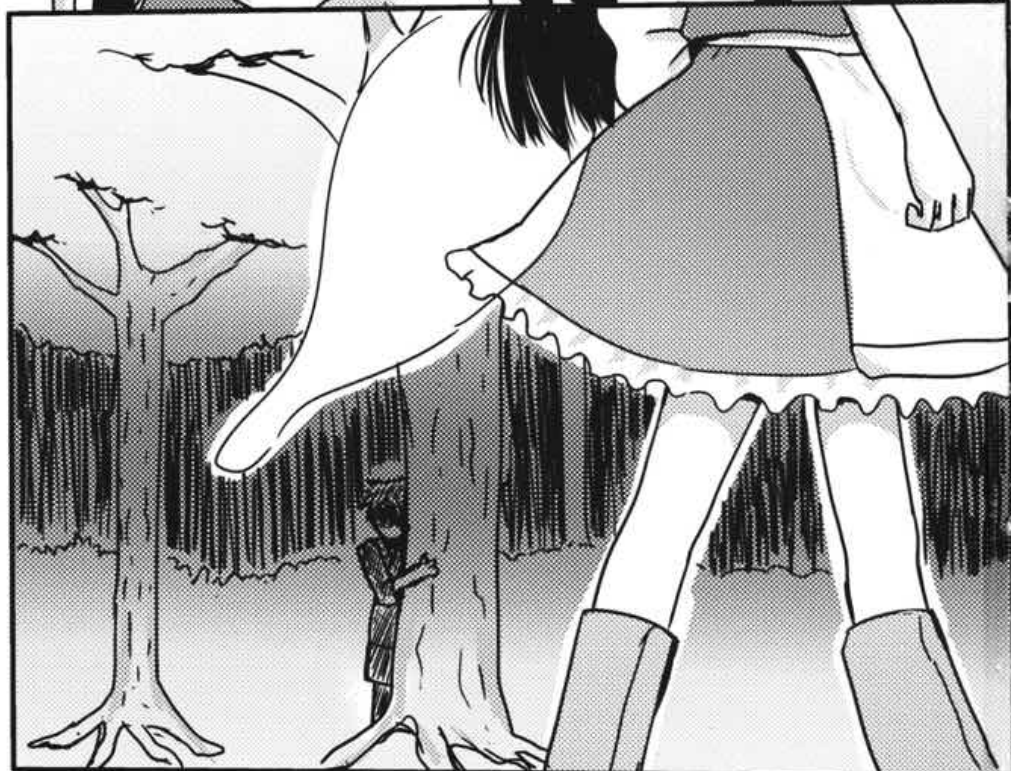
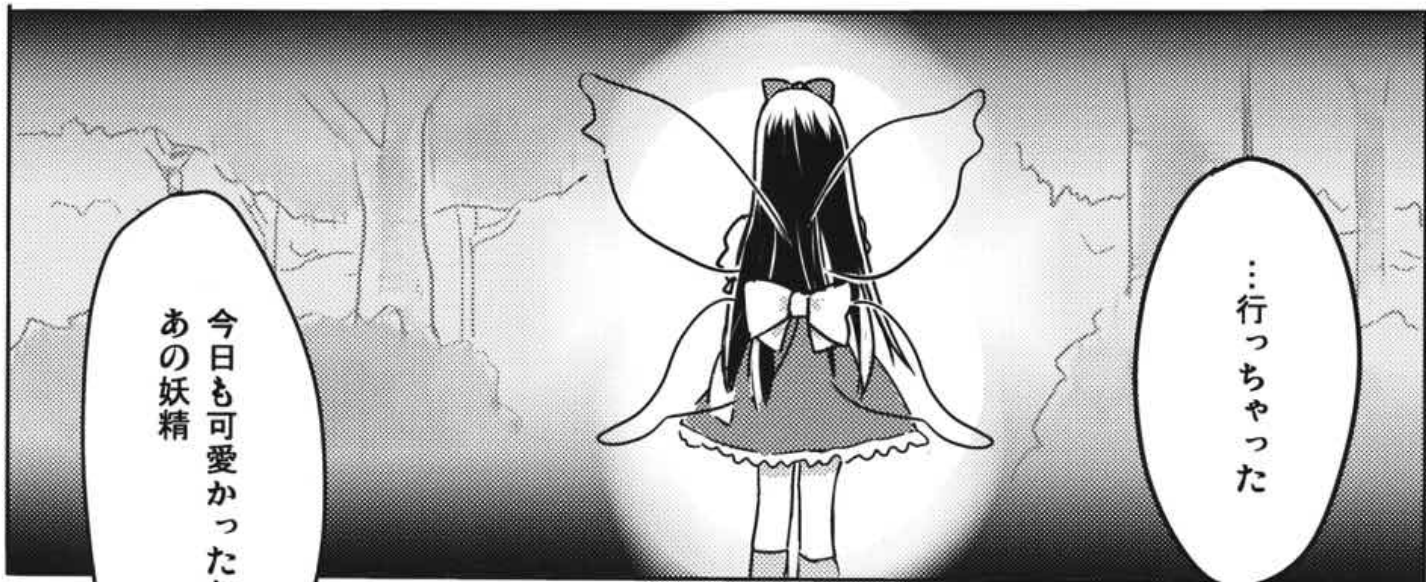


スターちゃんど
ひざまくらに
興味がございますか？







今日も可愛かったなあ
あの妖精

…行っちゃった

はあ…



妖精とスケベなことしたくて仲良くしてる奴なんか
里じゃ聞いたことないぞ……



でもなあ……

思い切って話しかけてみるか？

いっそのこと無理矢理
襲ってしまおうか……



妖精さんのおまんこの奥、
精液飲みたいって
ギユウギユウって
してるね

おまんこ

おまんこ

一番奥でいっぱい
だしてあげるからね

おまんこ

中は
ダメえっ♡



てな感じで
ガッツンガッツン突きまくって
お願い中に出さないでって懇願する
妖精さんの中にちんこ挿れたまま
ビュービューイキまくる訳だ
やべえ、ちんこ勃ってきた

ちんこ

もしもし

ねえねえ
おにーさん
聞こえてますかー？



あ、やっと気付いた
おにーさん
ぼーっとしてるのね

ちんこ

何をひとりで
ぶつぶつ呟いてたの？

チャアア

ぜんぜん気付かないんだもん
何十回も呼んじゃったわ

ダララ

ギョッ

はじめまして

私は星の光の妖精
スターサファイア

今一番
人間に興味がある妖精よ

おにーさんも
妖精に興味がある
んでしょう？

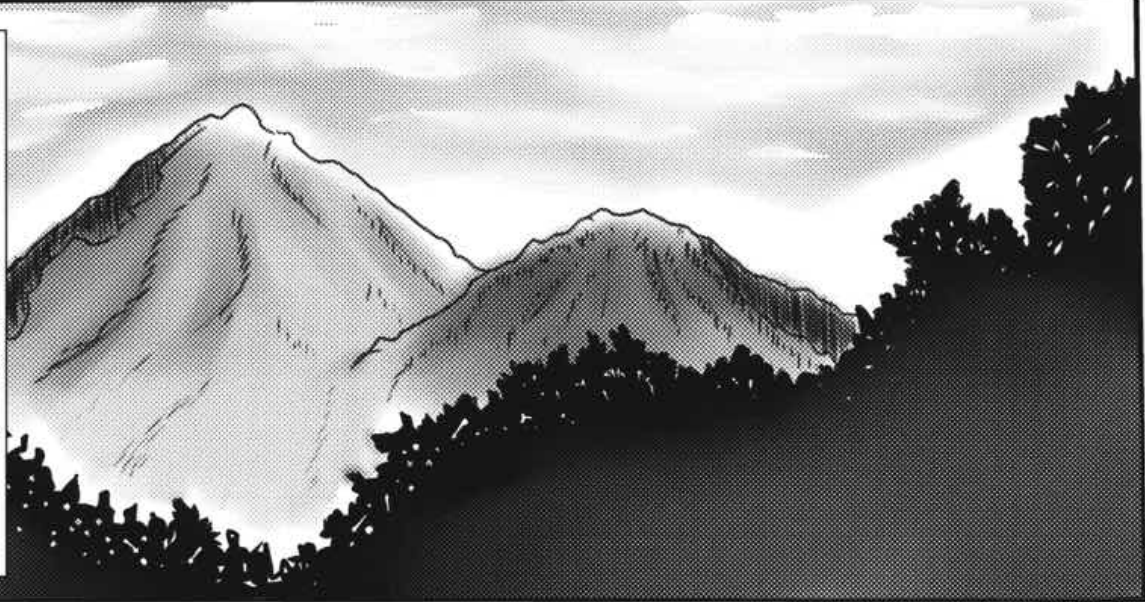
私のこと
毎日見てるの
知ってるんだからね

…って

どうしたの？

おなかでも
痛いの？

…いや、
なんでもないんだ
なんでもな



捕って喰おうって言う話
じゃないわ
人間に興味があるから
明日もこの場所この時間で
また会いましょうって話よ

本当にただそれだけなんだろうか……？
だとすれば話しかけることに臆していた
俺にとっては幸運以外の何者でもないが



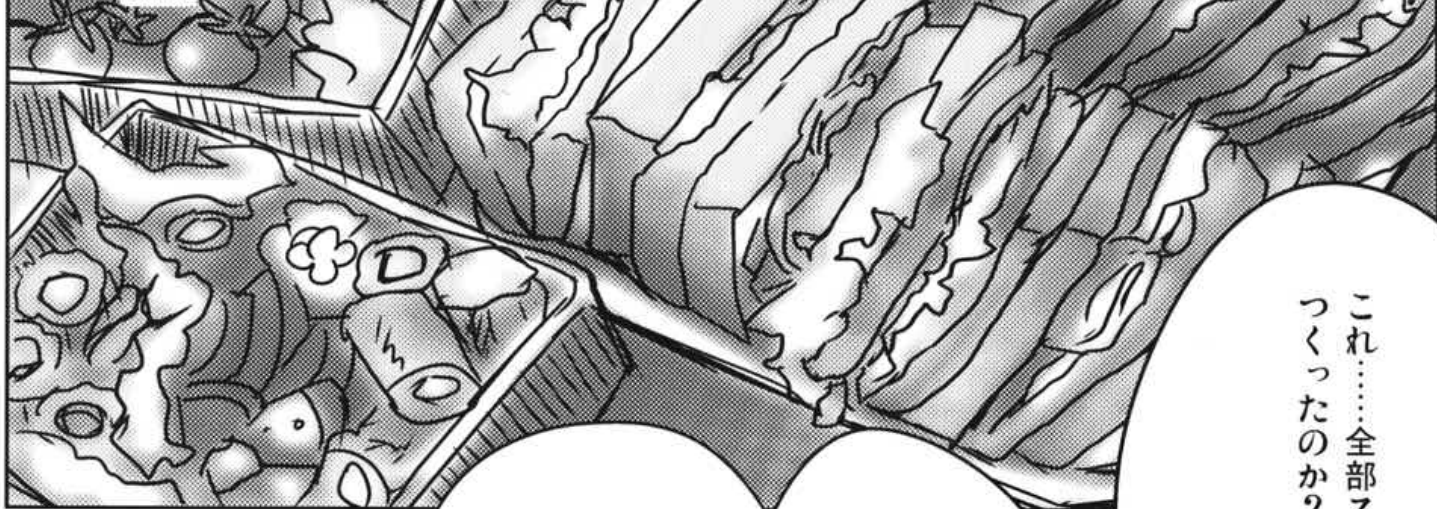
しかし相手はただの妖精とはいえ人外
油断するわけにはいかない……
いかなが、本音を言えば
これをきっかけにスケベなことをする
関係にまでこぎつけたい

よし、もし危害を加える
つもりならいっそのこと
返り討ちにして無理矢理
押さえつけてあの可愛いド

あー、ちゃんと来てたわね
よかったわ



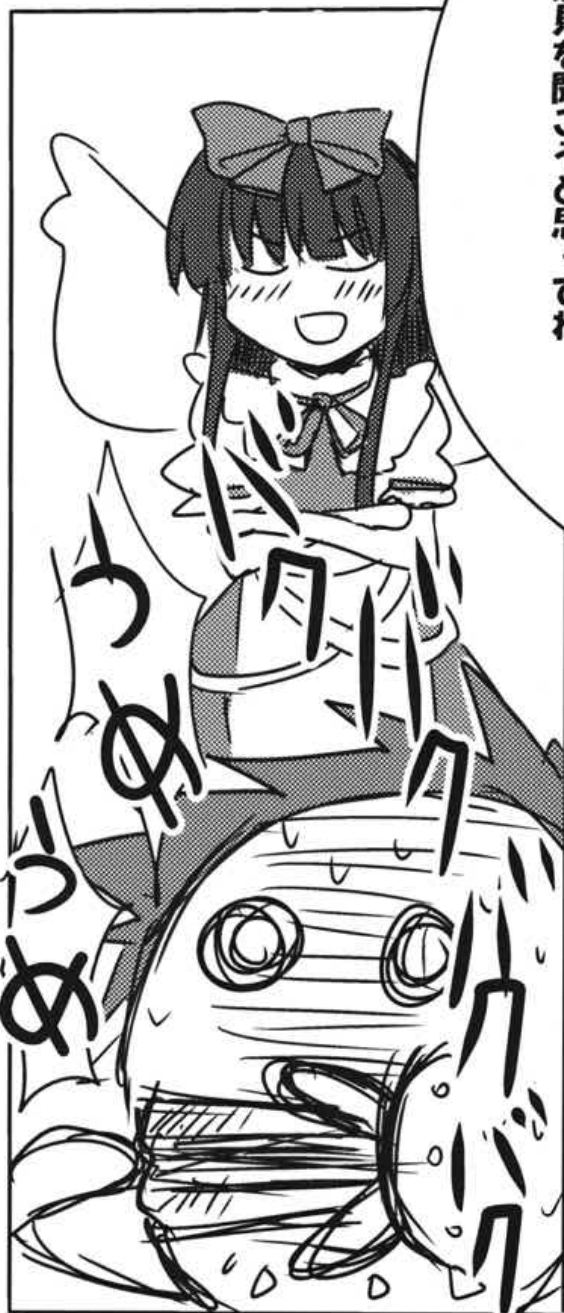
サンドウィッチ



これ……全部スターちゃんがつくったのか？

もちろんですよ、
たぬきちゃんも協力しなさい

まあ、これこそが私の人間研究の
成果そのものってわけよ
時々人間に味見させてみて
意見を聞こうと思っただけ



ごちそうさま！
すっげーうまかった！

これほどの料理の腕があれば
スターちゃんは良いお嫁さんにな
れるよ！

……ん？
そうか嫁……
そうか嫁は
考えてなかったが……

？

スターちゃん！！

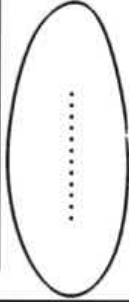
結婚しよう！

って、いくらなんでも
話が吹っ飛びすぎだ！
これじゃいきなり
何の話だよって思うだろ

それにしても
ちっこくてやわらかい
肩の感触が



じゃなくて、
早く冗談だったことにする
とか何とか誤魔化さなくては
せっかく距離が縮まったのに
台無しになってしまう！



……っていうか
なんとなくだが
満更でもない様子
みたいに見えるな



照れてる顔が
可愛いからしばらく
見ていようかな？

こういうこと
はじめてだから
……その……

……そろそろ開放して
あげないと間が持たないな
「なんてねびっくりし……」

……痛くしないでね



って、斜め上を
行ったあああ!?

なんだこの幸運は



こんな可愛い娘が
……
今までの人生は
なんだったんだ

私のおまんこをずぼずぼ使って
おにーさんも気持ちよくなってる



お、お好精だかアッおにーさん
痛くもなんともないわ



血が...

ホントおっ、
だから遠慮しないで
うごいてお



いらねえなら
おにーさん遊んで……!

ずっ
ぱ

あ
め
ん
こ

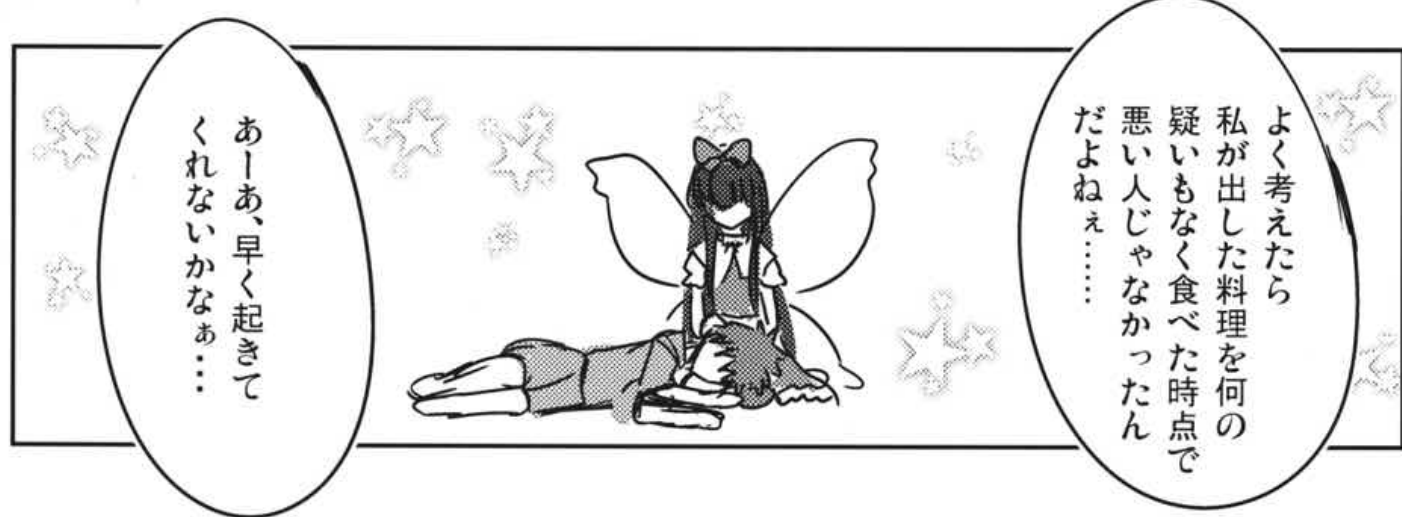
ずっ
ぱ

も
う
一
回



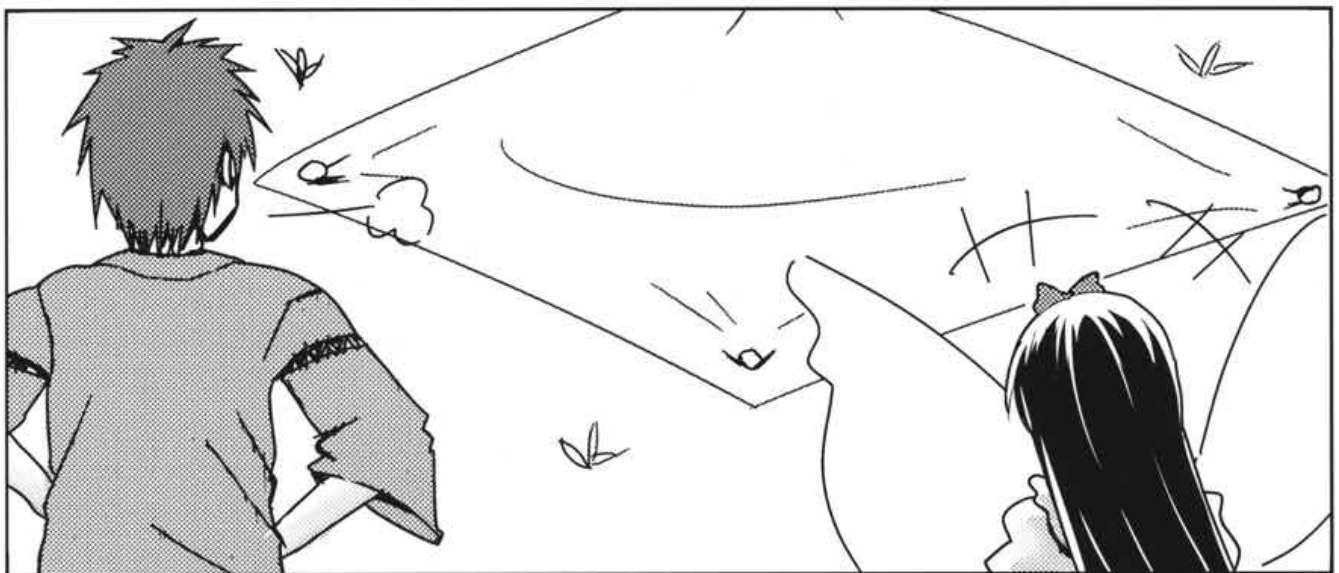
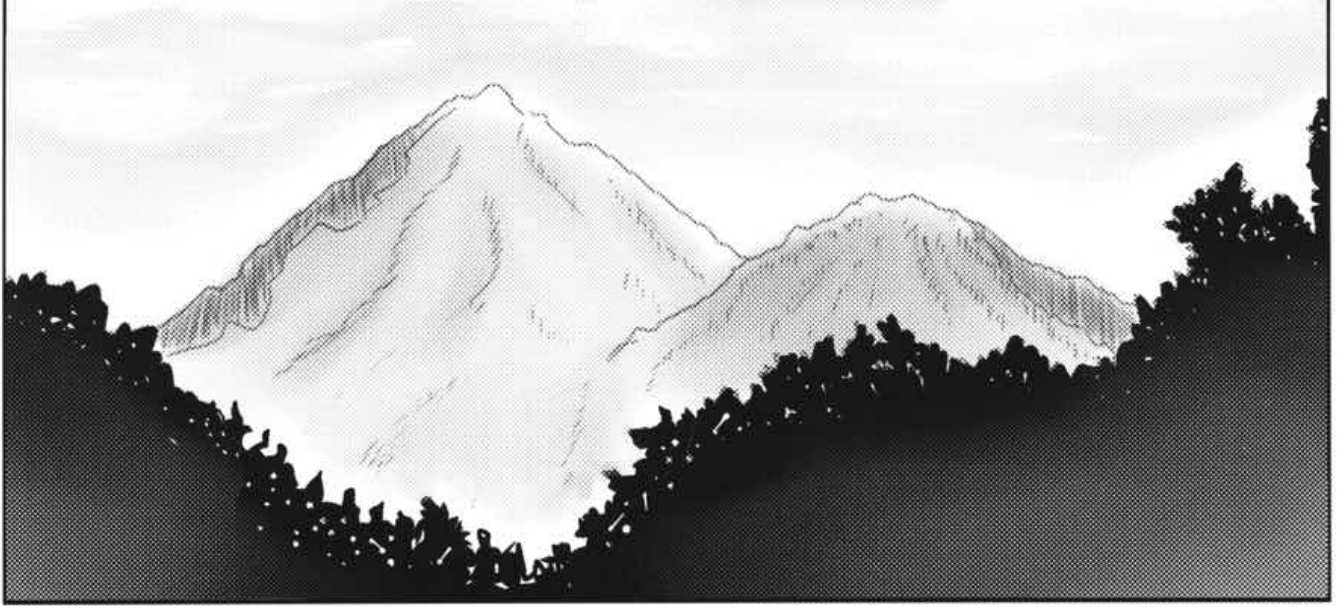
ワナで気絶させられた
割には気持ちよさそうに
夢見てるわね……

キモチイイ
〜

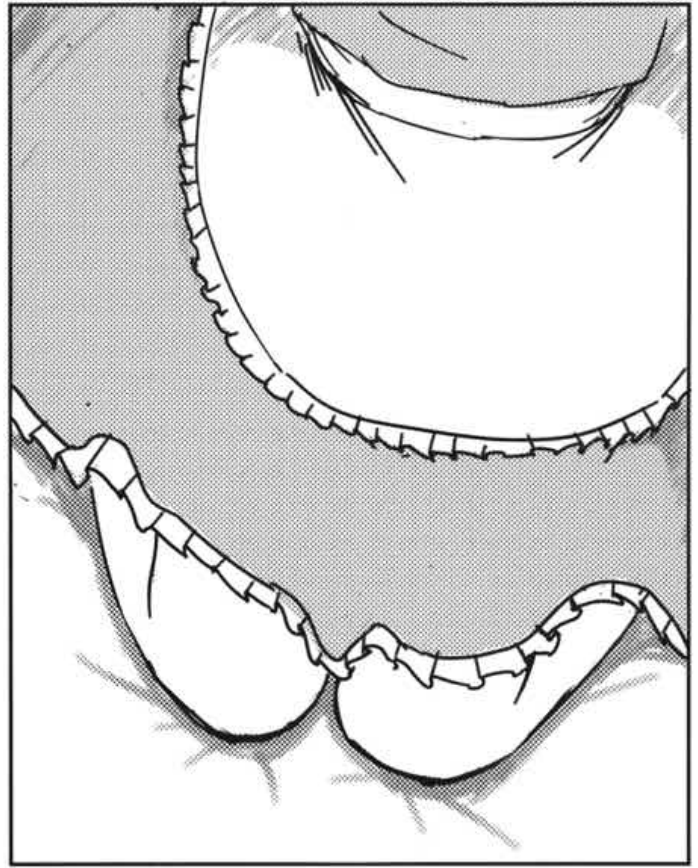


あーあ、早く起きて
くれないかなあ……

よく考えたら
私が出した料理を何の
疑いもなく食べた時点で
悪い人じゃなかったん
だよなあ……







最初は遠くから見守るだけの
片思いの相手に過ぎなかった。

しかしある日、彼女が
人間の真似で作った料理の
味見をして欲しいと申し出てから
頻繁に二人きりで会うようになった。

ちなみに僕が彼女を
毎日毎日物陰から
見守っていた理由は
単純にスケベなこと
をしたかっただけ
なのだ



せっかく知り合いに
なれたのに襲い掛かって
台無しにしてしまうのが
惜しくて、こうして一緒に
食事をする関係を
続けているのだった。

今日は思い切って
ひざまくらをお願いして
みたところ、これがあっさりと
承諾してくれた。

フオオオオ！
スターちゃんのおいとフトモモの
感触たまんねえ！

ハツ待てよ俺
これはもしかして
チャンスなのではないか

このにおいと感触があれば
俺ならゴハン3杯は軽くイケる！
そしてこの体勢ならばスターちゃんからは
俺がボッキしたとしても角度的に
見えることはない！



…? どうしたの

っ
こ
あ
あ
あ
あ

か
ば

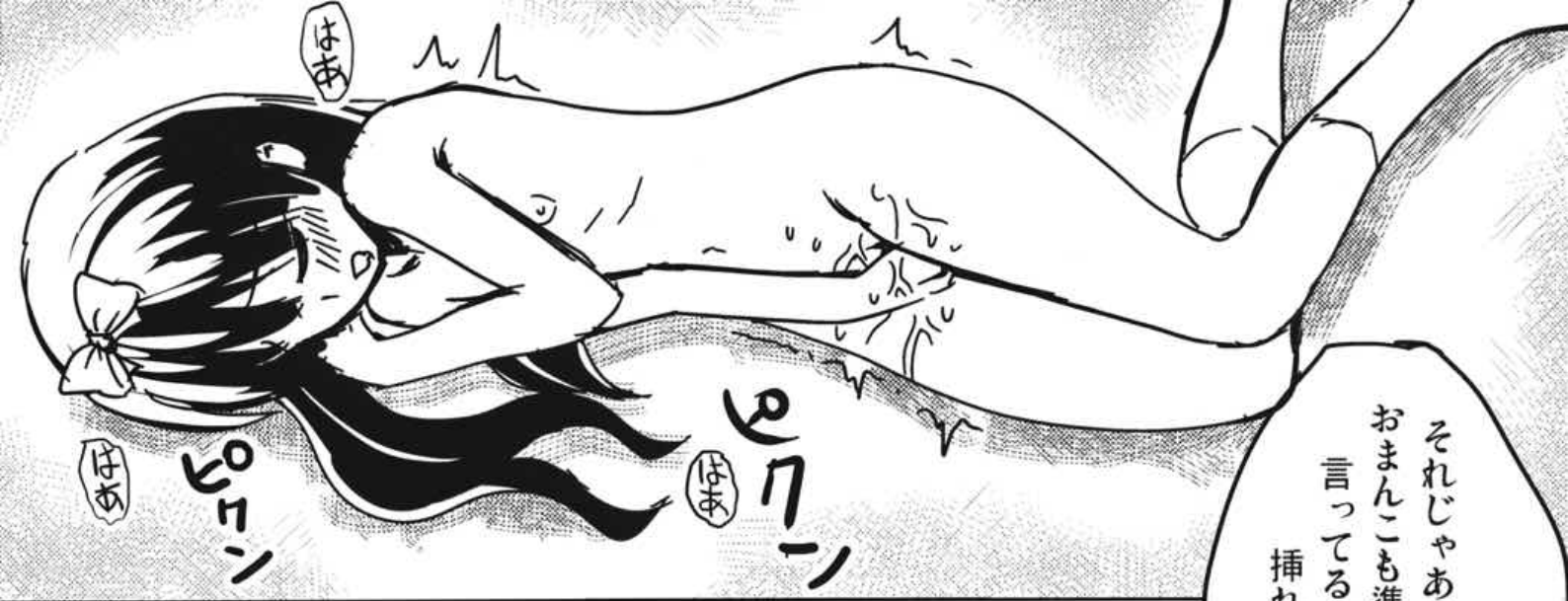
す
っ



ち
よ
っ
と
…

な
な
に
を
…?





それじゃあスターちゃんのおまんこも準備オーケーって言うてるからゆっくり挿れるね!

...え?



!?

くちゅ...

ぐんぐん

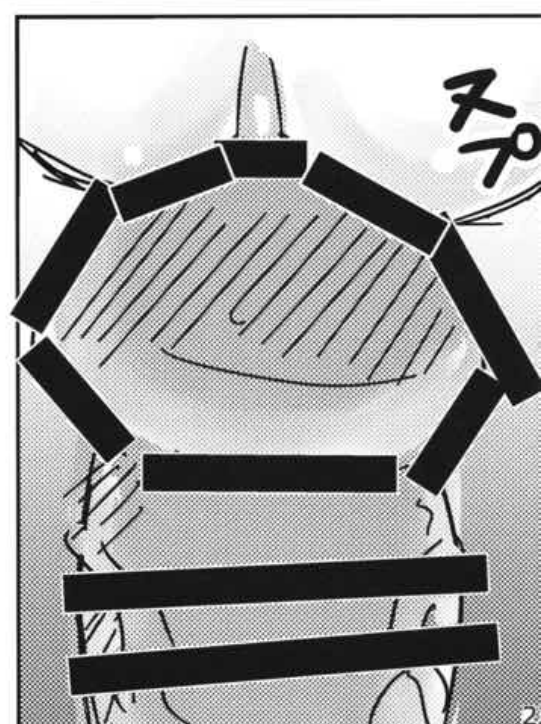


ズッ

たっ



ズッ

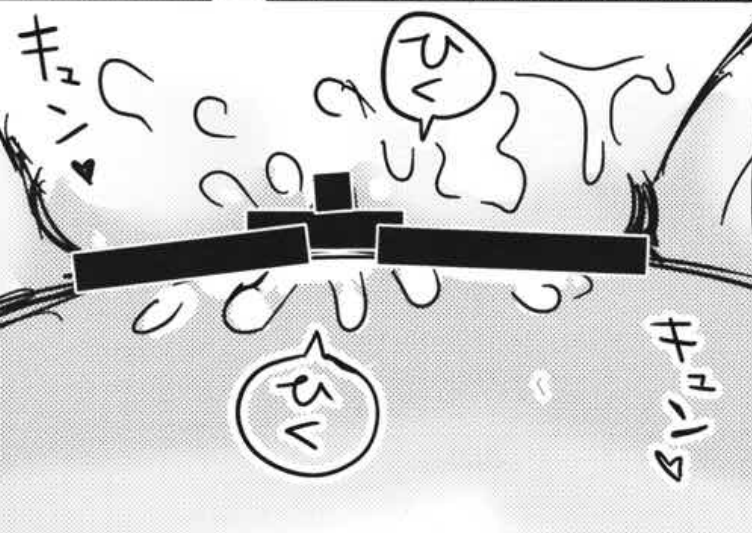


ズッ



スターちゃんの処女まんこ
やっぱりすごいや!
一番奥まで挿れただけで
大量に膣内射精しちゃった!

スターちゃんも気持ちよくなってるのかな?まんこが
キュンキュン締め付けて
ちんこが中でどんどん
固くなってるよ







あとがき

はじめましてウサ小というものです。
はじめましてじゃない方はもうお気づきかと思います。
この本は2014年の例大祭と紅楼夢で出した本の内容を
絵だけリメイクしたという、アレです。
スターサファイアちゃんの本ダッシュターボです。
なおタイトルは2014年例大祭のほうは
「黒髪ロングの妖精さんに興味はありますか？」
2014年紅楼夢のほうは
「スターちゃんとピクニックデートでひざまくらっ！」です。
今回のタイトルは二つを混ぜたものにしました。
発行部数は少なく、読みたくても読めなかった人が
いたんじゃないかと大胆予想してしまいました。

また次の本もどうぞよろしくおねがいします！

